

世界の民族衣装展



装飾された布たち Vol.2



今年度 第三回目の世界の民族衣装展は、「装飾された布たち Vol.2」と題し、前回の「Vol.1」に続き装飾された布たちをご紹介します。前回は、ビーズや貝、ボタンなどが装飾された衣装を中心に展示いたしました。今回は、刺繍が施された衣装を中心にアップリケが施された衣装なども展示いたします。

刺繍は、織物とは違い大きな設備の必要が無く、針と糸で布に自在に模様を表現することができます。刺し方には様々な技法があり、同じ色系を使用しても印象が違って見えます。更に、文様や配色などにより布の表情も様々になっていきます。子供が誕生した時から縫い始める刺繍や部屋を飾る刺繍、幸せの願いを込める刺繍、身近な草花や生き物をデザインした刺繍などが衣装や装飾布に施されています。

アップリケは装飾することが目的ですが、部分的に布を縫い付けることによって、傷んでしまった布を生まれ変わらせる役割もあります。衣装を大切に長く着るための知恵のひとつです。

染織資料展では、代々受け継がれてきた衣装の技法や色彩等、美しく素晴らしい染織資料をご紹介します。是非この機会にご覧ください。

平成29年11月28日（火）～12月24日（日）

会場 桐生地域地場産業振興センター
4階「資料展示ホール」

開催時間 10:00～16:00

休館日 月曜日 入場料 無料

